

リカレント教育支援サービス

産業界および社会ニーズに対応するDX人材輩出に向けたリカレント教育支援

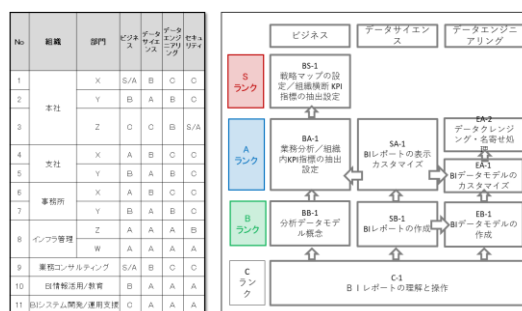
サービス概要

組織における数理・データサイエンス・AIおよびBI (Business Intelligence) に関する必要なスキルセットゴールのからカリキュラムを検討し、企業の業務・組織の特性、暗黙知を反映した実践的な履修モデルの設計、研修プログラム開発を支援します。また、現地研修、オンデマンド研修の実施および研修受講結果の分析により受講生の習得状況、教材の改善点を把握することで、リカレント教育によるデジタル人材育成の推進を支援します。

育成人材に応じた育成目標例

組織	部門	業務	頻度	対応組織	人員	備考
本社	A	1 事業全体に関わる業務の整理ができ、業務上の革新ができること。 2 本社、支社KPIの設定ができ、PDCAサイクルを回すことができる。 3 事業全体を見通して、必要なデータのあたりをつけることができる。	〇〇回/年	X課	××名	
	B	1 事業所全体に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(データ開 発、データモデル作成、レポート作成ができる) 2 事業全体を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	Y課	××名	
	C	1 アカウンタ管理(アカウンタ設定・ロール権限の付与) 2 バックアップ管理	随時	—	—	
支社	A	1 組織内の業務の整理ができ、業務上の革新ができること。 2 支社、業務所KPIの設定ができ、PDCAサイクルを回すことができる。 3 支社、業務所を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	X課	××名	
	B	1 組織内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(データ 開発、データモデル作成、レポート作成ができる) 2 組織を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	Y課	××名	
	C	1 事業所内の業務の整理ができ、業務上の革新ができること。 2 事業所KPIの設定ができ、半期ごとにPDCAを回すことができる。 3 事業所を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	X課	××名	
業務所	A	1 事業所内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(可視 化に必要なデータ開発、データモデル作成、レポート作成ができる) 2 組織を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	Y課	××名	
	B	1 事業全体に関わる業務の整理ができ、KPIの設定ができ、PDCAを回すことができる。 2 事業全体を見通して、必要なデータのあたりをつけることができる。 3 事業所内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(データ 開発、データモデル作成、レポート作成ができる) 4 事業所内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(可視 化に必要なデータ開発、データモデル作成、レポート作成ができる)	〇〇回/年	Z課	××名	
	C	1 事業全体に関わる業務の整理ができ、KPIの設定ができ、PDCAを回すことができる。 2 事業全体を見通して、必要なデータのあたりをつけることができる。 3 事業所内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(可視 化に必要なデータ開発、データモデル作成、レポート作成ができる)	〇〇回/年	W課	××名	
インフラ管理	D	1 事業全体に関わる業務の整理ができ、KPIの設定ができ、PDCAを回すことができる。 2 事業全体を見通して、必要なデータのあたりをつけることができる。 3 事業所内の業務に関わる業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(可視 化に必要なデータ開発、データモデル作成、レポート作成ができる)	〇〇回/年	Z課	××名	
	E	1 業務データの抽出、分析、モニタリングができること。(可視化に必要なデータ開発、 データモデル作成、レポート作成ができる) 2 組織を見通して、必要なデータを抽出することができる。	〇〇回/年	W課	××名	

育成レベルに応じた研修カリキュラムの構成例



導入効果

Point

実績あるデータサイエンスおよびインフラ領域でのデジタル人材育成プログラムをもとに、企業のニーズに合わせた、早期の教育プログラム開発と実践的人材に関する育成の加速を支援します。

課題・ニーズ

- インフラ維持管理のDXを推進できるデジタル人材育成を加速させたい
- 現場の実践的スキルを向上させることで業務の効率化を推進したい
- 業務暗黙知の形式知化（データ化）による後継者の育成が必要である

導入後

- 企業の組織・職務のニーズに合致したデータ活用人材育成を推進できる
- 現場の実務データを用いた実践的なスキルの定着化と業務改善を推進できる
- 暗黙知に基づく判断の過程をデータ化することで知識継承を支援できる

特長

ベイシスコンサルティングは、文部科学省が進める高度データ関連人材育成事業である「データ関連人材育成プログラム (D-DRIVE)」(*)の参画企業であり、当事業にて採択されたデータサイエンス等のスキル習得研修プログラムおよび弊社インフラ分野での経験をもとに、早期のデータ活用人材育成教材の開発・提供とオンライン型研修の実践と評価を支援します。

[*]平成30年度科学技術人材育成費補助事業「データ関連人材育成プログラム (D-DRIVE)」の選定機関の決定について
Web : https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/data/_icsFiles/afieldfile/2018/10/09/1410001_001.pdf

事例紹介

組織・役割に応じた研修プログラムを開発・運用

- 組織・体制・業務分担から、業務に必要なスキルセットを定義、各組織・担当者に求められるスキルと必要な研修プログラムを開発・運用
- 実務データ及び業務に適合したKPI設定、BI等の教材の開発、データ分析の教材を開発
- 研修効果を早期に発現するため、実業務・実データに即した研修用BI環境を構築・運営

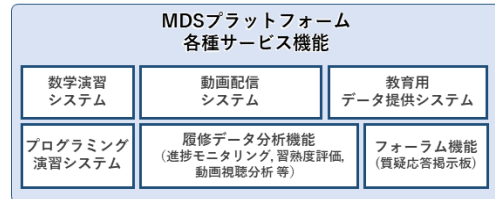
オンライン型研修と評価による人材育成を支援

北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センターが開発した「MDSプラットフォーム」を活用し、eラーニングによる教育を提供しています。実際にBIレポートを受講者が操作する「ハンズオン」型の研修に加え、受講者同士がディスカッションを行う「ワークショップ」も行っています。

データ活用人材育成プログラム

人材育成フレームワーク+運用	①スキルセットの構造化	②スキルレベル定義	
	③スキルレベル別研修		④運用プログラム
カリキュラム	BI研修		データサイエンス (DS)研修
	管理指標(KPI)設定 ワークショップ	BIツール導入 ハンズオン	データ分析 実務適用
	業務分析/ 管理指標(KPI) 設定手順書	BI活用手順書	データサイエンス 基礎学習
テキスト			データサイエンス(DS)ガイド DSガイド資料編 DS事例集
研修環境+ 実務支援	①研修用BI環境の構築・運営		②業務活用支援体制の構築・運営

e-Learningシステム「MDSプラットフォーム」の活用



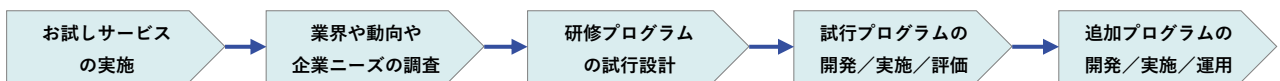
研修実施の様子
(令和元年度)



サービスメニュー

サービス	概要
お試しサービス	実績のある標準研修プログラムを使った試行サービスを提供します。 ■費用：50万～
DX人材育成研修	データ活用人材育成教材を基に、DXの概念からデータ資産の活用を目的とした4つのステップをオンライン型研修サービスとして提供します。 ①業務・データ理解 ②データ加工・結合 ③データ分析・可視化 ④評価・フィードバック また、要件に応じてプログラムのメニューを選択して提供も可能です。 ■費用：個別見積

導入手順 (DX人材プログラム)



問合せ先

お問い合わせフォーム: <https://basisconsulting.co.jp/contactus>、またはE-Mail: info@basisconsulting.co.jp 宛にご連絡ください。
弊社担当者から連絡して、別途ヒアリング、ご提案させていただきます。
株式会社ベシスコンサルティング DPMS担当窓口
TEL: 03-6240-0340

株式会社ベシスコンサルティング

〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目5-11 水道橋こんぴら会館4階
TEL: 03-6240-0340 E-mail: info@basisconsulting.co.jp